

# 光環境制御による 自然共生型農業への挑戦

## <開催趣旨>

従来までの天敵の利用のみではアザミウマやコナジラミのような微小害虫類に対して効果のある減農薬技術の開発は困難であった。しかしながら、近年の光生態学的な害虫防除研究から栽培場所の光環境や農業資材の色彩が上記のような難防除性の微小害虫行動に強い影響を与えることが明らかにされ、光と色を活用した新たな病害虫防除技術の開発への期待が高まりつつある。

本ワークショップは内閣府の主催する戦略的イノベーション創造プログラム（「次世代農林水産業創造技術」・『持続可能な農業生産のための新たな総合的植物保護技術の開発』）の中心的な研究者を招待し、光と色を活用した病害虫防除研究における最新の知見について紹介を頂き、今後の北海道農業における減農薬・脱農薬、持続的農業の発展、及びその国際競争力の強化に資することを目的とする。

日時：平成29年6月28日（水）  
13:00～17:30（開場12:00～）  
場所：洞爺湖文化センター  
北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉142  
電話：0142-75-4400

参加費無料：定員500名

招待講演 13:05～17:05



1. 「紫色LEDを使って天敵を呼び寄せる害虫防除技術」  
農研機構生物機能利用研究部門 研究ユニット長 霜田政美 氏
2. 「メロンに対する赤色光照射によるミナミキイロアザミウマの密度抑制効果」  
静岡県農林技術研究所 植物保護科 科長 片山晴喜 氏
3. 「赤色系防虫ネットの各種微小害虫に対する防除効果」  
京都府農林水産技術センター・主任研究員 徳丸 晋 氏
4. 「赤色系防虫ネット被覆がネギの生育に及ぼす影響」  
京都府農林水産技術センター 技師 伊藤 俊 氏
5. 「紫外光照射による病害(虫)防除技術」  
兵庫県立農林水産技術総合センター 研究主幹 神頭武嗣 氏

主催  
農研機構北海道農業研究センター

参加申込み・問い合わせ先

芽室研究拠点・池田成志

〒082-0081

北海道河西郡芽室町新生南9線4番地

TEL：0155-62-9276 FAX：0155-61-2127

E-mail：tokachi@ml.affrc.go.jp

